

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	湘南C-Xア-パソライサホ-トプラサ	階数	地上7F 地下1F
建設地	藤沢市辻堂神台二丁目20番他2筆	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,516 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	2,400 時間/年
建物用途	事務所、物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2012年4月5日
敷地面積	2,324 m <sup>2</sup>	作成者	(株)環境デザイン研究所
建築面積	1,320 m <sup>2</sup>	確認日	2012年4月5日
延床面積	8,321 m <sup>2</sup>	確認者	(株)環境デザイン研究所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 参考値: 100%  
 建築物の取組み: 84%  
 上記+ 以外のオンサイト手法: 83%  
 上記+ オフサイト手法: 83%

### 2-3 大項目の評価(レ-ダ-チャ-ト)

### 2-4 中項目の評価(バーチャ-ト)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.8

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 4.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

### 3 設計上の配慮事項

総合		その他
標準の省エネルギー性能を満たした環境設計を行う。 西側壁面はガラスカーテンウォールとし、前面の神台公園とのつながりを持たせている。 前面道路沿い、東側住宅地に面して緑化を行い緑あふれる緑地にしている。 西面にルーバーを設置し、景観への配慮と屋内環境の熱負荷低減、屋内からの眺望の確保をあわせて行っている。		・低メンテナンスな色彩計画 ・西側の緑化バルコニー
<b>Q1 室内環境</b> ・西側：Low-e複層ガラス、ルーバーによる熱負荷抑制 ・東側：壁面緑化による熱負荷抑制 ・執務空間照度750lx ・自然換気方式、ビル全館禁煙	<b>Q2 サービス性能</b> ・執務スペース一人当たり9㎡以上、天井高さ2800以上 ・OAフロア、コンセント容量50VA/㎡ ・バリアフリー対応	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・緑化面積の確保 ・屋上緑化、ルーファガーデン緑化、西側バルコニー部分緑化 ・前面道路に対する地上低層階のセットバック
<b>LR1 エネルギー</b> ・Lpw-eガラス、西側面ルーバーによる熱負荷低減 ・太陽光発電設備(20KW)	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水型器具の採用 ・低メンテナンスな外壁の色彩計画	<b>LR3 敷地外環境</b> ・前面道路に対する地上低層階のセットバック ・駐車場33台・駐輪場183台

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照された